

Tracers S&P500ゴールドプラス

主として、米国株式、米国の株価指数先物取引および金先物取引に係る権利に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

追加型投信／海外／資産複合

設定日：2022年8月31日 信託期間：無期限

決算日：毎年7月8日（休業日の場合は翌営業日）

委託会社：アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

ファンドの特色

Tracers（トレイサーズ）とは、「こんな欲しかった」をデザインし、**ルール通りに運用（トレース）**するファンドシリーズです



ファンドの特色

- 1** 米国株式および金に分散投資を行ない、収益の獲得をめざします。
- 2** 先物取引を積極的に活用し、信託財産の純資産総額の200%相当額の投資を行ないます。
- 3** 購入時手数料はかかりません。

基準価額変動リスクの大きいファンドですので、ご投資の際には慎重にご判断ください。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。



※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。

※当資料は、投資者の皆様へ当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

Tracers S&P500ゴールドプラス

追加型投信／海外／資産複合

ファンドの特色



当ファンドの投資対象

当ファンドは、米国株式と金に分散投資を行ないます。米国株式には、マザーファンド*ならびに米国の株価指数先物取引を通じて投資を行ない、金には金先物取引を通じて投資を行ないます。

*マザーファンドは、S&P500指数（税引後配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざします。

米国株式（S&P500指数）

米国の株式市場を幅広く捉える指数

- S&P500指数は、米国の主要産業を代表する500社の株式で構成された、同国の代表的な株価指数の一つ。
- 米国株の動向を表す指標として広く認識されている。

金（金先物）

分散投資先として有効な資産

- 金は、株式や債券などの主要資産と値動きが異なる傾向がある。
- 「有事の金」と呼ばれ、市場急変時に選好されやすい。

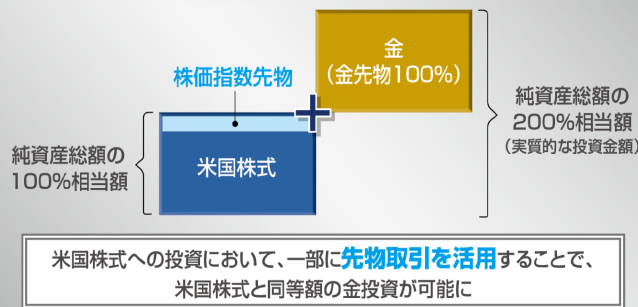
※上記は、主な特徴を列挙したものであり、すべてを網羅したものではありません。



実質的な運用について

当ファンドでは、米国株式と金に投資を行ない、先物取引を積極的に活用することで、純資産総額の200%相当額の投資を行ないます。

当ファンドの運用方法



※上記はイメージ図です。

先物取引を活用するメリット

①レバレッジ（てこ）効果

先物取引を活用することで、比較的少ない金額で大きな額の取引を行なうことができます。小さな力で大きな効果を得る「てこ」になぞらえて、レバレッジ効果と呼ばれます。

②為替変動リスクが限定的

先物取引では、差金決済となるため、為替変動の影響は、主に評価損益分と外貨建て証拠金に限定されます。

※米国の株価指数先物取引および金先物取引においては、買建額に対する為替変動の影響がなく、為替変動の影響を受けるのは主に評価損益分と外貨建て証拠金となります。ただし、米国株式の現物投資部分は実質的に為替変動の影響を受けます。

※米国の株価指数先物取引および金先物取引に投資する場合、先物取引の仕組みにより為替変動の影響が限定的であることから、為替が円安となる局面での為替差益も限定的となります。

※実際の運用は、純資産総額の合計が200%とならない場合があります。

※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。

※当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

Tracers S&P500ゴールドプラス

追加型投信／海外／資産複合

ファンドの特色

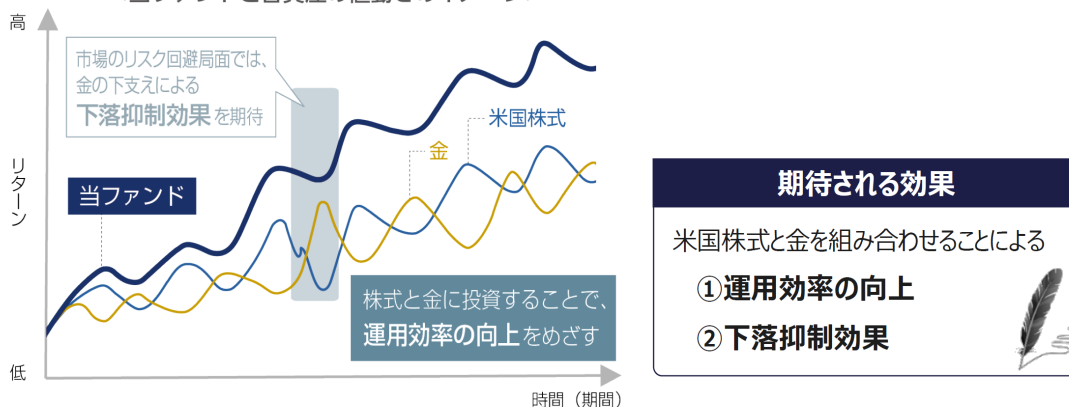


当ファンドに期待される効果と値動きのイメージ

当ファンドでは、値動きの特性が異なる米国株式と金を組み合わせることで、運用効率の向上のほか、市場のリスク回避局面では、金の下支えによる下落抑制効果が期待されます。

なお、当ファンドでは、先物取引を活用したレバレッジにより、純資産総額の200%相当額の投資を行なうため、日々の基準価額の変動が大きくなります。

<当ファンドと各資産の値動きのイメージ>



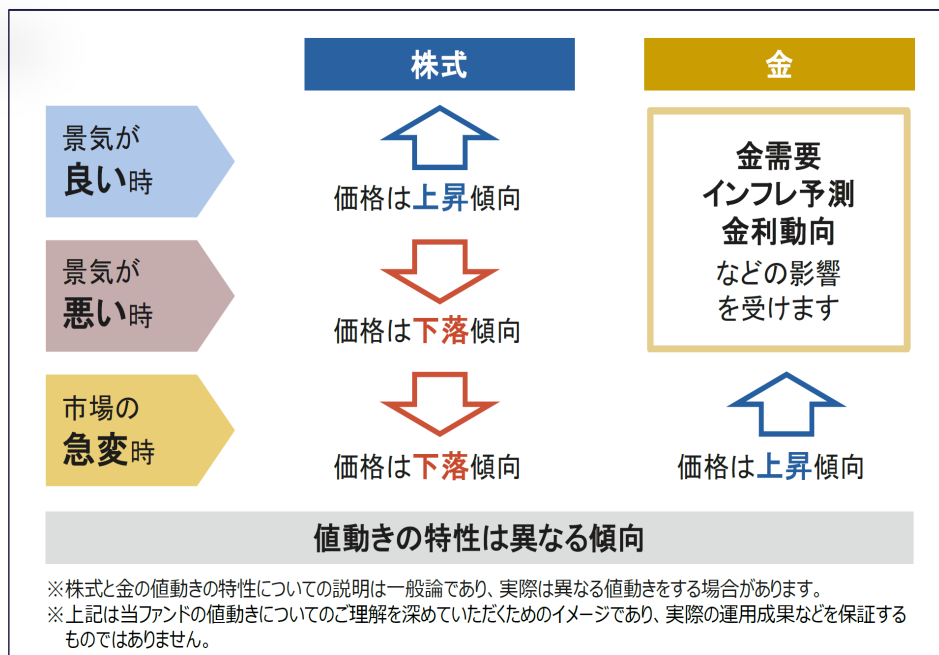
※中長期的には、複利の効果により、当ファンドと、米国株式、金のパフォーマンスとの乖離がプラスにもマイナスにも大きくなる可能性があります。

※当ファンドのリスクについては、後述の「お申込みに際しての留意事項」をご覧ください。

※上記は当ファンドの値動きについてのご理解を深めていただくためのイメージであり、実際の運用成果などを保証するものではありません。



<ご参考>株式と金の値動きの特性イメージ



※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。

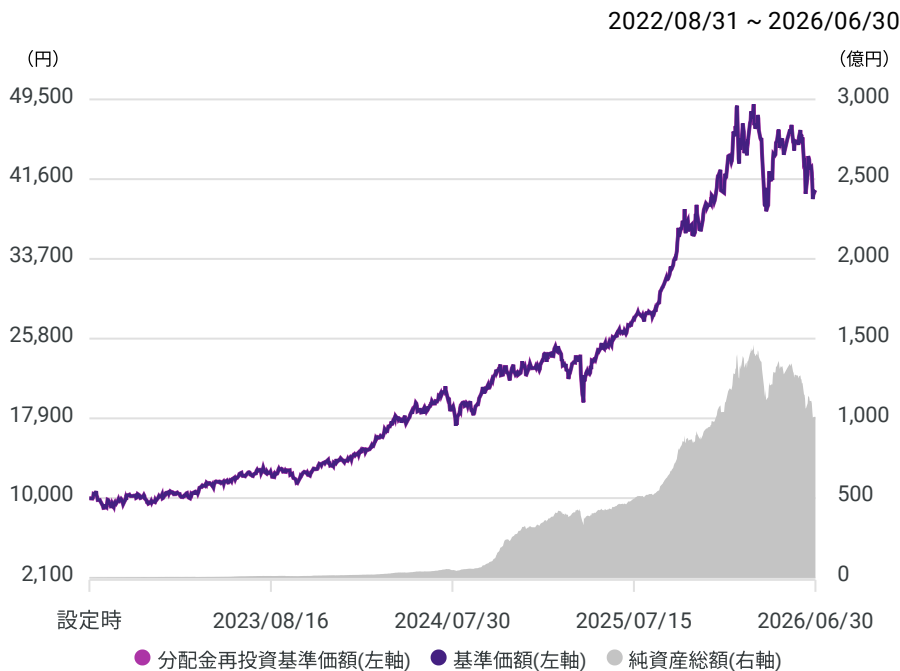
※当資料は、投資者の皆様当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

Tracers S&P500ゴールドプラス

追加型投信／海外／資産複合

運用実績

運用実績の推移



※分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

※基準価額は、運用管理費用（後述の「当ファンドにかかる費用」参照）控除後の値です。

基準価額・純資産総額

2026年06月30日	
基準価額	40,515円
純資産総額	1,009.25億円

※基準価額は1万口当たり・分配金控除後の値です。

騰落率

期間	基準価額
1ヵ月	-11.4%
3ヵ月	3.8%
6ヵ月	0.1%
1年	54.2%
3年	227.7%
5年	-
10年	-
設定来	305.2%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配金

決算日	分配金
2025年07月08日	0円
2024年07月08日	0円
2023年07月10日	0円
-	-
-	-
-	-
設定来累計	0円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。

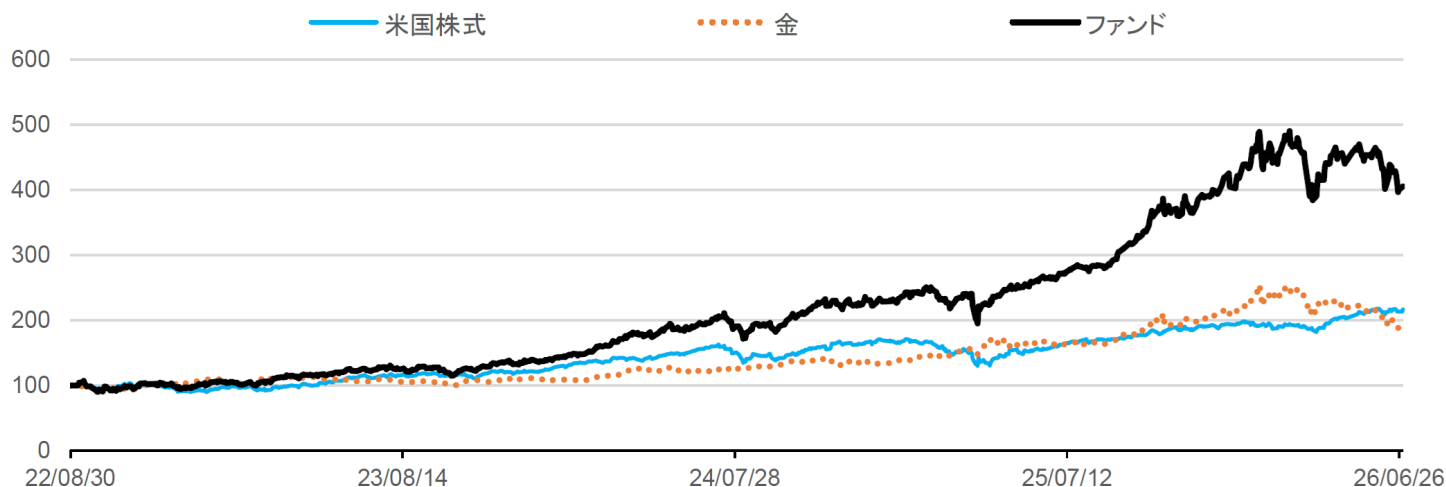
※当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

Tracers S&P500ゴールドプラス

追加型投信／海外／資産複合

参考情報

ファンドと各資産の価格推移（設定日の前営業日を100として指数化）



※ファンドは、分配金再投資ベースのパフォーマンスです。

※各資産の内容は以下の通りです。各資産の推移は、あくまでも参考情報であり、当ファンドのベンチマークではありません。

米国株式：S&P500指数（配当込み、円ベース）

金：ブルームバーグ金サブ指数（米ドルベース）

※S&P500指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はS&P社に帰属します。

※ブルームバーグ金サブ指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はブルームバーグ社に帰属します。

※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。

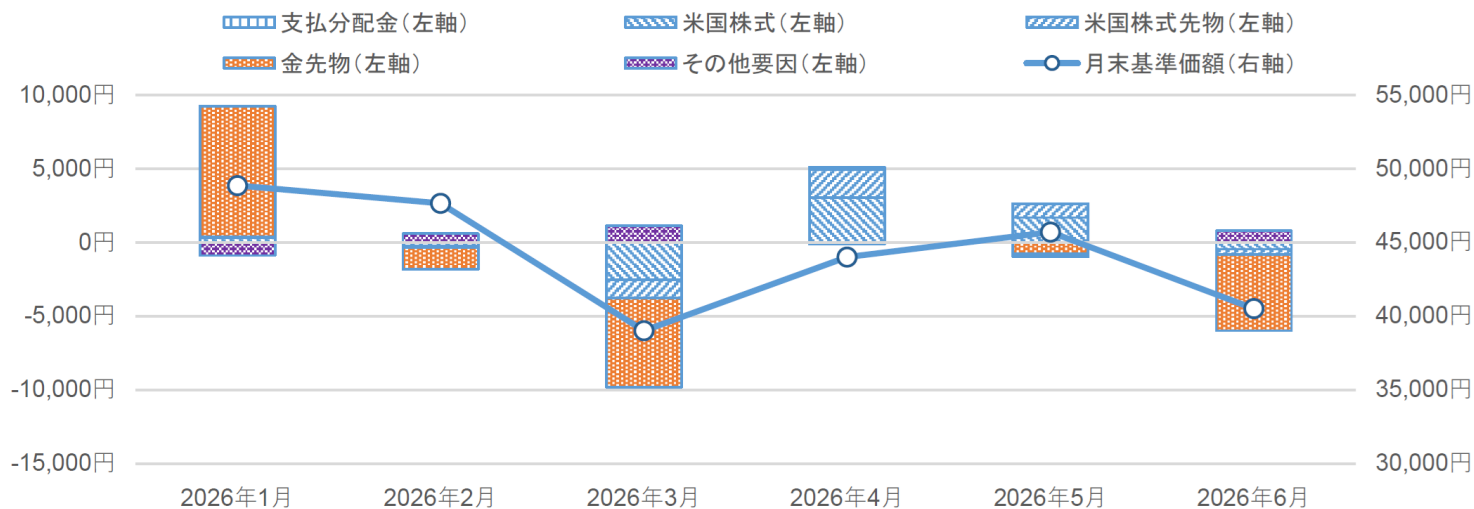
※当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

Tracers S&P500ゴールドプラス

追加型投信／海外／資産複合

参考情報

基準価額騰落の要因分解（直近6ヵ月および設定来）※グラフは6ヵ月のみ



※要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※要因分解では、投資信託証券は、米国株式に含まれます。

※その他要因には、為替変動や信託報酬等の諸要因を表示しています。

※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。

※当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

Tracers S&P500ゴールドプラス

追加型投信／海外／資産複合

ポートフォリオ

資産別構成比



資産種別	比率
1 投資信託	65.2%
2 現金・その他	34.8%

※比率は当ファンドの純資産総額比です。

※先物取引にかかる証拠金は「現金・その他」に含まれます。

資産別構成比（内訳）



資産種別	比率
1 外国株式	61.1%
2 外国REIT	1.1%
3 現金・その他	37.8%

資産種別	比率
1 外国株式先物	39.5%
2 その他先物	99.3%

※比率は当ファンドの純資産総額比です。

※先物取引にかかる証拠金は「現金・その他」に含まれます。

※「その他先物」には金先物を含みます。

組入上位10業種

業種	比率
1 半導体・半導体製造装置	19.0%
2 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	10.7%
3 メディア・娯楽	9.1%
4 ソフトウェア・サービス	8.3%
5 金融サービス	6.9%
6 資本財	6.8%
7 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.0%
8 一般消費財・サービス流通・小売り	5.4%
9 銀行	3.5%
10 ヘルスケア機器・サービス	3.2%

※比率は当ファンドがマザーファンドを通して投資する株式の評価金額合計に対する比率です。

組入上位10銘柄

組入銘柄数：503

銘柄	通貨	国・地域	業種	比率
1 NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.6%
2 APPLE INC	アメリカ・ドル	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.0%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.7%
4 AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.3%
5 ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	アメリカ	メディア・娯楽	2.0%
6 BROADCOM INC	アメリカ・ドル	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.7%
7 ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	アメリカ	メディア・娯楽	1.6%
8 MICRON TECHNOLOGY INC	アメリカ・ドル	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.3%
9 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ・ドル	アメリカ	メディア・娯楽	1.2%
10 TESLA INC	アメリカ・ドル	アメリカ	自動車・自動車部品	1.1%

※比率は当ファンドの純資産総額比です。

※ETF（上場投資信託）等を組み入れる場合があります。

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。

※当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

Tracers S&P500ゴールドプラス

追加型投信／海外／資産複合

運用会社コメント

投資環境

米国株式市場は、前月末と比べて下落しました。米国とイランによる停戦の覚書合意を受けて原油価格が下落しインフレ圧力が緩和したことや、米国の製造業とサービス業の購買担当者景気指数（PMI）速報値が市場予想を上回ったことなどが株価の上昇要因となったものの、労働市場が堅調となったことや米国連邦公開市場委員会（FOMC）後の米国連邦準備制度理事会（FRB）議長による記者会見の内容を背景に米国の利上げ観測が高まり半導体関連株が下落したこと、相次ぐ大型新規株式公開（IPO）や大規模な増資の発表を受けて、市場で株の供給過剰が警戒されたことなどが重しとなり、株価は下落しました。

6月の原油価格は大幅に下落しました。米国とイランの双方が停戦に向けた動きをみせるなか、原油供給のボトルネックとなっているホルムズ海峡の封鎖が解除されるとの期待が高まったことや、中国の需要急減が確認され、悪材料となったことなどから、原油価格は大幅に下落しました。金価格は6月も下落しました。インフレ懸念が強まるなか、新議長が就任した米国連邦準備制度理事会（FRB）がタカ派的な政策を進めるとの思惑も絡み、米ドル高、米国の利上げ観測などが悪材料となり、金価格は下落しました。

運用経過

当ファンドは、米国株式と金への分散投資において、それぞれ純資産総額と概ね同程度の投資を行ないました。

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。

※当資料は、投資者の皆様当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

Tracers S&P500ゴールドプラス

追加型投信／海外／資産複合

組入上位10銘柄の銘柄概要

<組入上位10銘柄の銘柄概要>

1 NVIDIA CORP / エヌビディア
テクノロジー企業。AI、データサイエンス、自動運転車、ロボット工学、メタバース、3Dインターネットアプリケーションなどのためのプラットフォームの開発に従事。PCグラフィックにも注力する。世界各地で事業を展開。
2 APPLE INC / アップル
IT会社。スマートフォン、パソコン、タブレット、ウェアラブル端末、アクセサリーの設計、製造、販売に加え、各種関連アクセサリーの販売に従事。決済、デジタルコンテンツ、クラウド、広告サービスも手掛ける。消費者、企業および政府機関などを対象に世界各地で事業を展開。
3 MICROSOFT CORP / マイクロソフト
ソフトウェア会社。アプリケーション、追加クラウド・ストレージ、高度セキュリティソリューションを提供する。世界各地で事業を展開。
4 AMAZON.COM INC / アマゾン・ドット・コム
オンライン小売会社。多岐にわたる製品を販売する。書籍、音楽、コンピューター、電子機器、その他多数の製品を販売。顧客別にカスタマイズされたショッピングサービス、ウェブ上でのクレジットカード決済、および顧客への直接配送を手掛ける。世界各地でクラウド・プラットフォーム・サービスも提供。
5 ALPHABET INC-CL A / アルファベット
アルファベット（AlphabetInc）は持株会社。子会社を通じ、ウェブベースの検索、広告、地図、ソフトウェア・アプリケーション、モバイルオペレーティングシステム、消費者コンテンツ、業務用ソリューション、eコマース、ハードウェア製品などを提供する。（議決権が付与された株式）
6 BROADCOM INC / ブロードコム
半導体とITインフラ向けソフトウェアの両方を手がける、米国の世界的テクノロジー企業。
7 ALPHABET INC-CL C / アルファベット
アルファベット（AlphabetInc）は持株会社。子会社を通じ、ウェブベースの検索、広告、地図、ソフトウェア・アプリケーション、モバイルオペレーティングシステム、消費者コンテンツ、業務用ソリューション、eコマース、ハードウェア製品などを提供する。（議決権が付与されていない株式）
8 MICRON TECHNOLOGY INC / マイクロン・テクノロジー
子会社を通じてDRAMチップ、SRAMチップ、フラッシュメモリ、半導体部品、メモリモジュールなどを製造、販売。
9 META PLATFORMS INC-CLASS A / メタ・プラットフォームズ
ソーシャルテクノロジー会社。ユーザーをつなぎ、コミュニティを見つけ、事業の成長を支援するアプリケーションおよび技術を構築する。広告、拡張機能化、仮想現実も手掛ける。
10 TESLA INC / テスラ
多国籍自動車・クリーンエネルギー会社。電気自動車、家庭から送電するための蓄電装置、太陽光パネル、ソーラールーフタイル、関連製品とサービスの設計・製造を手掛ける。独自の販売網を保有し、電気パワートレイン部品を他の自動車メーカーに販売する。

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
※記載の見解等は、作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。
※当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

Tracers S&P500ゴールドプラス

追加型投信／海外／資産複合

ファンド情報

ファンドの特色

1. 米国株式および金に分散投資を行ない、収益の獲得をめざします。
2. 先物取引を積極的に活用し、信託財産の純資産総額の200%相当額の投資を行ないます。
3. 購入時手数料はかかりません。

投資リスク（基準価額の変動要因）

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式、上場投資信託証券および株価指数先物取引ならびに金先物取引にかかる権利を実質的な投資対象としますので、株式、上場投資信託証券および株価指数先物取引ならびに金先物取引にかかる権利の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化、金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク	・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。 ・上場投資信託証券の価格は、連動目標とする資産価格および当該資産が関係する市況や市況の変化などの要因により変動します。上記事項に関する変動があった場合、ファンドに損失が生じるリスクがあります。 ・株価指数先物取引および金先物取引にかかる権利の価格は、投資対象となる原資産の値動きや先物市場の需給などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、当該先物取引にかかる権利の値動きに予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
流動性リスク	・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券および先物取引にかかる権利などの取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。 ・上場投資信託証券について、金融商品取引所が定める一定の基準に該当した場合、上場が廃止される可能性があり、廃止される恐れが生じた場合や廃止となる場合も上場投資信託証券の価格は下がり、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあります。
為替変動リスク	・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
デリバティブリスク	・金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。
レバレッジリスク	・株価指数先物取引および金先物取引などを積極的に用いてレバレッジ取引を行ないます。したがって、株式および金地金市況の影響を大きく受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。

※当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンド情報

委託会社およびその他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社	
	ホームページ	https://www.amova-am.com
	連絡先	0120-25-1404 (受付時間：平日9:00～17:00)
	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第368号
	加入協会	一般社団法人 資産運用業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社	

留意事項

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

指数について

「S&P500指数」の著作権などについて

S&P500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスがアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P®、S&P 500®、US 500、The500、iBoxx®、iTraxx®およびCDX®は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S&P」）の商標です。Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に対し一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

当資料の取り扱いについて

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。

※当資料は、投資者の皆様にご理解を高めいただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンド情報

販売会社一覧

販売会社名（金融商品取引業者等の名称）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社イオン銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社ＳＢＩ証券(注1)	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○
株式会社ＳＢＩ新生銀行（委託金融商品取引業者 株式会社ＳＢＩ証券）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社ＳＢＩ新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第39号	○		○	
ＰａｙＰａｙ銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
三菱UFJｅスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3335号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※(注1)右の他に一般社団法人日本STO協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会、日本商品先物取引協会にも加入しております。

※販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

※投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。リスク情報と留意事項をよくお読みください。

※当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解・データ等は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。